

新型コロナウイルス禍における法人の基本指針(3つのコアテーマ)

事業継続

社会資源として将来にわたり持続的に事業展開できるよう、経営を安定させる。

感染対策

感染症等対策検討委員会を軸に、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する。

安全確保

防災、防犯対策やリスクマネジメントを徹底し、利用者と職員の安全を守る。

〈令和4年度 事業概観〉

新型コロナウイルスの感染拡大に、エネルギーや原材料費の高騰による物価高などが加わり、令和4年度は当法人にとっても、近年類を見ない厳しい環境の中で施設運営を強いられる年となった。

とりわけ新型コロナウイルスについては、令和5年1月の感染第8波のまさにそのピークにおいて、特養ファボール星陵でご利用者40名、職員9名のクラスター感染が発生。うちアフターコロナで体調が悪化した方も含め、6名のご利用者が逝去され、コロナ禍の3年間で最も手痛い打撃を受ける結果となった。(詳細については別紙参照) その一方で、老人介護事業においては、多職種の職員一体となった地道な取り組みにより、稼働率の維持・向上につとめ、光熱水費、給食費、消耗品費等が高騰する中であって、一定の利益を確保することができた。

また、児童福祉事業においても、前年度末に退所した児童の空きを満たすことに苦慮しつつも、若手職員の育成を進め、施設運営体制の改善につとめることができた。さまざまな局面でたいへん厳しい経験に直面させられたが、結果として、法人全体の純資産額上昇も相まって、安定した経営基盤の構築に資する一年となった。

双葉学園 令和4年度事業報告書



令和4年度 重点課題

- ① 人権擁護と最善の利益の保障の推進
- ② 子どもを中心とした社会的養育推進計画の見直し検討に
向けた対応
- ③ 子どもたち一人ひとりに対する継続的な自立支援の強化
- ④ 人材の確保・育成・定着に向けた取り組みの強化
- ⑤ 施設の質的強化と地域における子育て支援拠点としての
役割の推進
- ⑥ 大規模災害に備えた支援体制の構築と防災・減災対策の
推進

■ 入所児童の状況 (定員 35 名)

■ 初日在籍推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童数	23	20	20	20	18	19	20	22	24	24	23	23

平均 21.3 名

入所人数：8 名

- 入所理由：・心理的虐待 3 名 ・親の行方不明 2 名
 ・親の拘禁 1 名 ・親の疾病(精神疾患) 1 名
 ・措置変更(自立支援施設) 1 名
- 措置元 : 神戸市こども家庭センター

退所人数：8 名

- 退所理由：・家庭引取 6 名 ・自立就労 1 名 ・措置変更 1 名

■ 一時保護委託延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童延数	0	0	0	6	0	15	54	75	66	62	56	62	396

受入件数：11 名 (6 ケース) …内 3 名入所 (2 ケース)

■ 子育てリフレッシュステイ利用延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
デイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ショート	0	0	0	4	5	32	31	10	6	3	2	2	95

- ショートステイの内訳

神戸市： 1泊2日…11件 2泊3日…7件 3泊4日…3件

尼崎市： 1泊2日…20件

■ 事業項目

■ 組織・施設運営

- ・家庭的養育を推進するため、5つの生活ユニットで養育及び療育を実施している。児童一人一人に目が届き、個々の状況に合わせた対応が取りやすくなるなどの効果から児童が安全で安心して生活ができる環境づくりに取り組めた。
- ・神戸市児童養護施設連盟加入4施設とHOME評価研究・研修を共同で進め、子どもが生活しやすい施設環境を目指した。

■ 権利擁護

- ・今年度から権利擁護委員会を立ち上げ、まず職員が権利について学習する機会を設け、制度の理解をすることで、児童が意見表明しやすい状況を作ってきた。
- ・「人権擁護チェックリスト」を用いて、年2回職員ごとに自己点検を行った。

■ 生活支援

- ・定期的にユニットで調理をすることで、職員の調理技術の向上と児童への食育につながった。
- ・性教育プログラムを外部講師の協力のもと児童を対象に実施した。
- ・基礎学力の育成や発達障害の児童への学習支援を主任補佐、障害児担当の2名が中心になって実施した。
- ・学園全体行事をコロナ対策を行った上で再開し、BBQ、キャンプ（彦根方面）、クリスマス会、卒送会と児童の思い出作りができた。

■ 自立支援計画

- ・アセスメント会議を各ユニットで行うことで、より具体的に自立支援計画書が策定でき、実践へ活かせるようになった。

■ 退所後の相談・援助

- ・児童の退所後、各児童担当職員と自立支援専門相談員が共同して、継続支援計画書を策定し、アフターケアを行った。
- ・一人暮らしや生活困窮している退所児童へ、生活応援物資（ふたば便）を定期的に送り届け、その時に生活状況を把握し、それぞれに適した支援を行った。

■ 家族支援

- ・家庭支援専門相談員が、保護者の状況を把握し、児童や関係機関と調整を行うことで、6名の児童の家庭復帰につながった。
- ・保護者向けにしおりを配布説明し、施設生活やルールへの理解と協力を求めた。

■ 地域活動

- ・小・中学校との連絡会を定期的に行い、児童の情報を共有することで、処遇の連携につとめた。
- ・鶴甲ふれあいのまちづくり協議会の構成員として職員2名が加入し、地域活動に参画した。夏祭りでは、ゲームコーナーを運営した。年明けにはどんと焼きの手伝いを行った。

■ 人材育成

- ・コロナ禍でも zoom などを活用した研修に参加することで、学びを停滞させることなく、さらなる知識の取得を行った。

■ リスクマネジメント

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止につとめてきたことで、施設内の感染者は最小限に留めることができた。

■ 社会啓発

- ・ホームページのトピックスを定期的に更新し、児童の生活の様子に実感をもって触れてもらえるように内容の充実を図った。
- ・コロナの状況をみながら保育士養成の実習生受け入れを行った。

令和4年度 ユニット行事一覧（一例）

月	日	実施ユニット	行事名	行き先
4	5	ひまわり	おもちゃ王国に行こう	東条湖おもちゃ王国
5	4	全ユニット	ユニットの親睦を深めよう	神崎いこいの村グリーンエコー笠形
	21	たんぽぽ	六甲牧場に行こう	六甲牧場
	22	ひまわり	大型公園で思い切り遊ぼう	しあわせの村
6	18	いちご	ラウンドワンを楽しもう	ラウンドワン三宮店
7	17	ひまわり	温泉で疲れを癒そう	天然温泉「瀧の湯」
	23	たんぽぽ	動物と触れ合おう	神戸どうぶつ王国
	27	たんぽぽ	ヘリコプター体験	八尾空港(大阪府)
8	3・4	全ユニット	夏を楽しもう（キャンプ行事）	Green Park 山東
	9	ひまわり	USJに行こう	USJ
	25	ひまわり	生野鉦山へ行こう	生野鉦山
9	11	さくら	みんなで博士になろう	神戸市海洋博物館
	18	すいれん	日帰り旅行！ナガシマスパーランド	ナガシマスパーランド
10	10	さくら	ゴーカートでGO	鈴鹿サーキット
	30	いちご	神社を巡って京都観光	伏見稲荷神社など
	30	すいれん	みちのくプロレスを観戦しに行こう！	神戸サンボーホール
12	26	さくら・たんぽぽ	京都水族館に行こう	京都水族館
1	1	いちご	初詣に行こう	西宮神社
	1	さくら・たんぽぽ	初詣に行こう	脇浜神社
	1	ひまわり・すいれん	初詣に行こう	生田神社
	6	さくら	冬休みを楽しもう	淡路島ONOKORO
	7・8	たんぽぽ・いちご	夢未来号	沖縄
2	18	全ユニット	ウィンター行事	ハチ高原スキー場
	18	ひまわり	ゲームセンターで遊ぼう	namco 梅田店
3	25	さくら	いちご狩り&BBQ&お別れ会	かさや（三田市）



ファボール星陵 ファボール泉が丘

令和4年度事業報告書

令和4年度 重点5課題



- ① 新型コロナウイルス感染防止の徹底
- ② 財務内容の強化と安定の確保
- ③ 競合優位性の追求
- ④ コンプライアンス（法令・社会規範等遵守）の理解と徹底
- ⑤ 「採用＋育成＋定着」の循環による人材確保

■ 特別養護老人ホーム

令和4年度目標 稼働率 98.0% … 月平均 56.8名／定員 58名



令和4年度実績 稼働率 88.3% … 月平均 51.2名／定員 58名

・新規入居者の確保につとめ、7月にはいったん満床を達成したが、その後逝去等で退居する方が相次いだ。とりわけ令和5年1月の新型コロナクラスター感染の発生により、さらに退居者が出、厳しい結果となった。なお、3月末には54名にまで回復している。

■ 併設ショートステイ

令和4年度目標 稼働率 91.7% … 月平均（1日あたり）11.0名／定員 12名



令和4年度実績 稼働率 82.5% … 月平均（1日あたり）9.9名／定員 12名

・年度当初から目標に迫る稼働率で推移。その後、新型コロナ感染拡大の影響を受け、稼働率が下がる月もあったが、新規利用者の確保と効率的なオペレーションにつとめ、月平均9.87名と前年度の月平均7.79名を上回る結果となった。

■ 併設デイサービス

令和4年度目標 利用者数…月平均（1日あたり）要介護 10名・要支援 7名



令和4年度実績 利用者数…月平均（1日あたり）要介護 10.2名・要支援 7.2名

・重度の利用者や送迎に手間のかかる利用者を受け入れるなどの取り組みと積極的なPR活動が実を結び、目標を上回る稼働率を達成した。特養フロアで新型コロナクラスター感染が発生したため、やむなく休業を余儀なくされた期間もあった。

■ 居宅介護支援事業

令和4年度目標 利用者数…月平均 要介護 20名・要支援 9名



令和4年度実績 利用者数…月平均 要介護 19名・要支援 10名

・利用者数において本年度の目標をおおむね達成した。利用者の状態が変化しやすく、入れ替わりも頻繁に起こるため、その対応に苦慮しつつも、利用者やその家族、また地域の事業所からの信頼を得ながら安定した運営につとめることができた。

ファボール泉が丘 各サービス区分の実績

■ サテライト型特別養護老人ホーム

令和4年度目標 稼働率 99.0%…月平均 19.8名/定員 20名

↓

令和4年度実績 稼働率 97.3%…月平均 19.5名/定員 20名

・退去や入院される方があったものの、迅速な入居を行ったため、満床状態をほぼキープできた。8月には、利用者5名、職員4名の新型コロナクラスター感染が発生したが、ゾーニング等感染拡大防止対策を徹底し、影響を最小限に抑えることができた。

■ 小規模多機能型居宅介護事業所

令和4年度目標 利用者数…要介護 12名・要支援 5名

↓

令和4年度実績 利用者数…月平均 要介護 19名・要支援 10名

・地域に根ざした地道な取り組みを行うことで、登録利用者数を伸ばすことができた。小規模多機能の利用者からサテライト特養の入居者へ、また星陵特養の入居者へと移行するケースも出てきており、トータルな連携によるサービス提供を進めていきたい。

■ 介護予防拠点

・昨年度と同様新型コロナウイルス感染予防のため、拠点での活動は自粛した。事業所内の他のスペースと完全隔離できるため、臨時の面会用スペースとして活用した。

ファボール星陵・ファボール泉が丘 主な共通事項

■ 食事

ご利用者ひとりひとりの ADL の実状に配慮したきめ細かな栄養ケアマネジメントを行いながら、質の高い食事の提供を行った。また、感染症対策マニュアル等に準拠し、食の安全確保にもつとめた。ご利用者に食の楽しみや季節の味を堪能していただくため、各種の行事食の提供にも力を注いだ。(別紙参照)

■ 行事

新型コロナ禍で外出行事や大がかりな施設内行事ができない中、職員が工夫を凝らし、レクリエーションの提供につとめた。ファボール星陵では、職員手作りのゲーム大会など、デイサービスでは地域の中学校と連携したイベントなど、また、ファボール泉が丘では、季節に合わせ利用者と職員が触れ合うミニ・イベントなどを実施した。



■ 職員研修

ご利用者の人権擁護のため、「高齢者虐待防止研修」「身体拘束適正化のための研修」に力点を置き、コンスタントに職員研修を実施した。また、職員のボトムアップのため、階層に応じ外部研修へも派遣した。

■ 人材対策

慢性的な介護人材不足に加え、コロナ禍において一層人材確保が厳しい状況下、人材の定着に力点を置き、より良いチーム作りができるようつとめた。また、新卒採用にも力を入れ、学校側に積極的にアプローチした結果、市内の高校 2 校の介護福祉コースで学ぶ 2 名の新卒正職員採用ができた。

■ 地域貢献

役員法人をつとめる「垂水区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットたるみ)」の活動を通じ、地域の福祉課題に積極的に取り組んだ。

● 年間行事食の一例（ファボール星陵・特養）

月	行 事	行 事 食 内 容
4	お花見	松花堂弁当等
5	八十八夜 端午の節句 母の日	新茶・和菓子等 祝膳等 行事菓子
6	父の日	行事菓子
7	七夕 土用の丑の日	祝膳等 うなぎ料理
8	納涼弁当	松花堂弁当等
9	敬老祝賀会 十五夜 お彼岸	祝膳等 行事菓子 おはぎ等あずきメニュー
10	行楽弁当 ハロウィン	松花堂弁当等 行事菓子
11	紅葉弁当	松花堂弁当等
12	冬至 クリスマス もちつき 年越しそば	かぼちゃ料理 クリスマス料理 ぜんざい（さつま芋） そば料理
1	新年祝賀会 七草 鏡開き	おせち料理（1・2日） 七草粥 ぜんざい（さつま芋）
2	節分 バレンタイン	巻き寿司 チョコレートメニュー等
3	ひな祭り ホワイトデー お彼岸	祝膳等 ホワイトチョコメニュー等 おはぎ等あずきメニュー

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、遠足等施設外での食事は中止
- ・毎月第2火曜はお誕生日メニュー（松花堂弁当等）
- ・毎月1日は祝膳（赤飯） 15日はちらし寿司

令和4年度 新型コロナウイルス感染状況のご報告

令和4年4月から令和5年3月までの間に、当法人各事業所で発生した新型コロナウイルス感染の状況を以下時系列にて報告します。このうち、令和5年1月、感染第8波のピーク期にファボール星陵で発生したクラスター感染においては、アフターコロナによる体調悪化ケースも含め、6名のご利用者が入院中にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

発生月	事業所	感染者
4月	—	—
5月	—	—
6月	—	—
7月	ファボール泉が丘	職員3名
	ファボール星陵	職員1名
8月	ファボール泉が丘	利用者5名 職員4名
	ファボール星陵	利用者1名
	双葉学園	児童4名 職員7名
9月	ファボール星陵	職員1名
10月	ファボール星陵	利用者2名
11月	ファボール星陵	職員3名
	ファボール泉が丘	職員1名
	双葉学園	職員1名
12月	ファボール星陵	職員2名
	ファボール泉が丘	職員1名
1月	ファボール星陵	利用者40名 職員10名
	ファボール泉が丘	利用者3名 職員2名
	双葉学園	職員1名
2月	ファボール星陵	利用者1名
3月	ファボール星陵	職員1名

■累計感染者数（令和4年4月～令和5年3月）

〈双葉学園〉 ・ 児童 4名 ・ 職員 9名 計 13名

〈ファボール星陵〉 ・ 利用者 44名 ・ 職員 18名 計 62名

〈ファボール泉が丘〉 ・ 利用者 8名 ・ 職員 11名 計 19名

総計 94名